４．西東京市都市と農業が共生するまちづくりの目的と方針

１～３を踏まえて、西東京市の都市と農業が共生するまちづくりの目的と方針について、以下のように整理します。

農業・農地の現状と課題

- 農地の保全
- 生産環境の整備
- 農業生産の向上
- 担い手の育成
- 農産物の流通
- 安全なおいしい農産物の供給
- 農業関係団体の連携
- 市民との交流
- 市民の農業体験の場づくり
- 農業景観を活かしたまちづくり

多面的機能発揮の現状の取り組み

- 農産物供給機能
- ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ･ｺﾐｭﾆﾃｨ機能
- 福祉・保健機能
- 環境保全機能
- 教育機能
- 防災機能
- 景観形成・歴史文化伝承機能

モデル検討地域の現況特性

- 東大農場
- 保谷駅北部エリア
- 保谷駅南部エリア
- 田無駅南部エリア
- 東大農場周辺エリア

都市と農業が共生するまちづくりの目的

農業者と市民、行政が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていく

都市と農業が共生するまちづくりの方針

1．都市農業・農地の持つ多面的機能を発揮し、市民の理解と様々な農とのふれあいを促進する。

2．農を通じた交流を生み出し、情報提供、販売や体験学習との相乗効果を促し、機能の向上を図る。

3．地場産品の市内消費を拡大する場やしくみを整え、市全域で地産地消を進める。

4．東大農場の知的資源や環境を活かし、市内外から人が集まり、農への関心とふれあいを高めていく場とする。

5．西東京市全体や各地域の特徴を磨き、東大農場とその周辺エリア及び各地域が連携して魅力のある農と共生するまちづくりの展開を図る。

6．市内外からの人々が、様々に農とのふれあいができる様に、情報提供や利便性を高めていく。

7．身近な暮らしの地域で、農への関心や農とのふれあいが高まるような情報提供や利便性を高めていく。